

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 10 月 22 日 (2020.10.22)

【公表番号】特表 2019-536736 (P2019-536736A)

【公表日】令和 1 年 12 月 19 日 (2019.12.19)

【年通号数】公開・登録公報 2019-051

【出願番号】特願 2019-513416 (P2019-513416)

【国際特許分類】

C 0 7 K 1/18 (2006.01)

B 0 1 D 15/00 (2006.01)

B 0 1 J 20/26 (2006.01)

C 0 7 K 16/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/575 (2006.01)

C 1 2 N 9/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 1/18

B 0 1 D 15/00 K

B 0 1 J 20/26 H

C 0 7 K 16/00

C 0 7 K 14/575

C 1 2 N 9/00 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 28 日 (2020.8.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

生物学的溶液中の単量体タンパク質から凝集タンパク質を分離するための方法であって

、

接触面を有する少なくとも 1 つのフィルタ要素

[ここで、前記フィルタ要素は濾材を含み、前記濾材は、

多孔質基材と、

前記多孔質基材上に配置された、炭化水素主鎖、及び前記炭化水素主鎖に結合された複数のペンダント基を含むポリマーと、

を含み、第 1 の複数のペンダント基のそれぞれは、

(1) 少なくとも 1 つの酸性基又はその塩と、

(2) 前記少なくとも 1 つの酸性基又はその塩を、少なくとも 6 個の原子が連結した鎖によって、前記炭化水素主鎖に直接連結させているスペーサー基と、

を含む] を準備することと、

前記単量体タンパク質から前記凝集タンパク質を分離するのに有効な条件下で、初期の生物学的溶液を前記フィルタ要素の前記接触面に接触させて、最終的な生物学的溶液が精製された単量体タンパク質を含むようにすることと、

を含む、方法。

【請求項 2】

前記ポリマーが、

- (1) 少なくとも 1 つのエチレン性不飽和基と、
 - (2) 少なくとも 1 つの酸性基又はその塩と、
 - (3) 前記少なくとも 1 つのエチレン性不飽和基と、前記少なくとも 1 つの酸性基又はその塩とを、少なくとも 6 個の原子が連結した鎖によって、直接連結させているスペーサー基と、
- を含む、少なくとも 1 つのモノマーの共重合された単位を含む、請求項 1 に記載の方法。